

アルカディアアニニュース

Vol.09
09年07月号

＜発行＞
アルカディアホーム 吉本店 (株) 東日本
都市開発
埼玉県志木市北町4-5-1
Tel:0800-888-6522
Fax:048-486-6521
http://www.arcadiahome.co.jp

住まいの強敵。憎いアイツをやっつけよう！

生態を知って、万全な対策を。
ゴキブリ撃退法をご紹介します。

みなさんこんにちは。いかがお過ごしでしょうか。
みなさんの暮らしと住まいを快適にするためのちと役立つ情報をお届けいたします。

さて、「日本中、いない家はない」というほど住まいにつきまもの悩みの種なのが、ゴキブリ。鳥肌が立つその姿もさることながら、とにかく不衛生、きわまりないところが困りものですね。なんとかして、我が家から絶滅はできないものでしょうか。そこで今号では、その生態を知った上で、撃退するコツをお届けします。

3億年も生き抜いてきたしぶといヤツ

ゴキブリは俗に「生きた化石」といわれるのを存存ですか？3億8000万年も前に地球上に登場したと言われ、ほとんどの姿を変えずに今に至っています。人類の歴史の100倍も生きていることになり、生命力と繁殖力のしぶとさがうかがわれますね。
地球上のゴキブリは約4000種類。日本では50種類近くが棲息している



ともいわれますが、家の中に忍び込んでくるのは、そのうちの7〜8種類。日本で最近、幅を利かしているのはチャバネゴキブリです。ゴキブリは夜行性で人間が夜寝静まると空気が止まったことを察知して、活動を開始します。

封じ込める鍵は、水場に近づけないこと

ゴキブリ対策は、まずは清潔にすることから始めましょう。超がつくほどの雑食性のゴキブリは野菜くずや食べ残しから、化粧品や消しゴムですらエサにするといわれるほどしぶといのです。生ゴミを毎日処理するのはもちろん、食品は密封容器の中に入れて保存し、部屋は常に清潔な心がけをしましょう。
また、侵入経路を断つことも大切です。ほんの少しのすき間からでも侵入します。窓には網戸を取り付け、台所



や浴室の排水口には網をかけておくことと侵入しにくくなります。ただ、1m程度の若いゴキブリが人間の洋服などにくっついて、部屋を自由に移動し繁殖していくのもゴキブリのしぶとい点。完全に進入経路を潰すのは不可能かもしれません。
しかしそんなゴキブリにも弱点があります。それは水です。ゴキブリは水さえあれば1ヶ月は生きる反面、水がないと3日くらいで死んでしまうため、台所などの水気は夜寝る前にふきとっておくことが撃退のポイントになります。また、杉の香りや、針葉樹でできたシダーウッドオイルなどを嫌いますので、水場の周りに置いておくと効果があります。

自然の力でオーガニックな虫除け対策

皆さんは、蚊などの防虫はどうしていますか。殺虫剤や化学薬品を使った防虫が一般的に連想されがちですが、ここでは趣向を変えて、ハーブなどの自然素材を使ったオーガニックな虫除け法をご紹介します。

●虫除け効果のあるゼラニウム

ハーブの中でも特にセンテッドゼラニウム(ハーブゼラニウム)が虫除けに適していて、ヨーロッパでは実際に植えて虫除けに使っています。お手入れもとても簡単で、日当たりの良い場所に置き、土が乾いたら水をあげるだけで大丈夫なので手間になりません。



●アロマオイルで虫除け効果

窓際にハーブの鉢植え等が置けない場合には、アロマオイルを活用するとよいでしょう。アロマオイルは、殺虫剤のように虫を殺すことはできませんが、虫は特定の臭いを嫌いますので、寄って来ないようにすることができます。効果の期待できるアロマオイルとしては、上記のゼラニウムの他に、ラベンダー・ローズマリー・ユーカリ・レモングラス・タイムなどがあげられます。

ゴキブリ撃退の最終兵器、ホウ酸団子を作ろう！

侵入経路をふさぎでも、エサにならずうなものをシャットアウトしても、ゴキブリの数が減らないようなら、最終手段としてホウ酸団子がオススメです。ゴキブリに脱水症状を起こさせて撃退することができます。ホウ酸は揮発しませんが、スプレー式の殺虫剤などと違って、口にしない限り人への害は少ないのです。ただ、人間が間違えて食べても同様に脱水症状を起こす危険性がありますので、注意

●ホウ酸団子の材料

- ホウ酸……100グラム
- 小麦粉……200グラム
- すり下ろしたタマネギ……大さじ2杯
- 水……約100グラム
- 砂糖……大さじ2杯
- 牛乳……少々



が必要ですが、また、食べ物を放置したままでは、ゴキブリはそちらに釣られていきますので、効果はありません。

上記の材料を耳たぶくらいの固さになるように、ゴム手袋をしてこね直径約2cmの団子にし、直射日光の下およそ1週間乾燥させましょう。ホウ酸は粘膜や消化管などから吸収されやすく人体に有害なので、作る時は必ずゴム手袋をしてください。

できた団子は台所の流し台の下、引き出しの奥、冷蔵庫の裏、ガスレンジの下の隙間などの暖かく、ゴキブリが潜伏しているような場所に設置し、数ヶ月〜1年で取り替えるようにします。ペットや乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

